

平成 20 年 3 月 10 日

## 拠 点 校 の 事 業 実 施 報 告 書

拠 点 校 名： 岐阜県下呂市立東第一小学校

### 1 年間スケジュールに基づいて実施した事業経過

- ・拠点校における実践交流会 (1回...1月)
- ・校内研究会 (3回...6月、10月、11月)
- ・校内研修会 (3回...8月、1月、2月)
- ・研究推進委員会 (18回...年間を通して実施)
- ・ALT と HRT との打ち合わせ会 (毎週木曜日に実施)
- ・先進校等の視察 (4回...11月、12月、2月)
- ・県における拠点校連絡協議会 (1回...2月)

### 2 本校における取組の具体的な内容

取組内容については、第 5・6 学年の英語活動の授業に反映するとともに、1 月の実践交流会にて管内に広めることを見通しながら計画・実施した。

教員の指導力の向上のための取組について

- ・研究の視点を明確にした校内研究会(授業公開)の実施
  - 第 1 回(6月)・・・積極的にコミュニケーションをとろうとする子どもの姿の共通理解と TT の役割の明確化(第 3 学年)
  - 第 2 回(10月)・・・学級担任が学習者のモデルとなった授業の在り方と子どもが楽しめる活動の設定(第 4 学年)
  - 第 3 回(11月)・・・使用表現を楽しんで使ったり、Face to Face したりするための手立ての有効性(第 1 学年)
- ・チャンツや TPR などの指導法に関する校内研修会の実施
  - 第 1 回(8月)・・・チャンツや TPR などの指導法の講習会(本校 JTE・ALT)
  - 第 2 回(1月)・・・小学校英語活動の実践的な活動例(外部講師)
  - 第 3 回(2月)・・・小学校英語活動の実践的な活動例(外部講師)
- ・先進校等の研究会への参加・資料収集と校内報告会の実施
  - 三重県津市立北立誠小学校(11月21日)・・・2名
  - 岐阜県瑞穂市立生津小学校(11月30日)・・・2名
  - 京都市英語活動研究大会(12月14日)・・・2名
  - 岐阜県大垣市立中川小学校(2月7,8日)・・・2名
- ・ALT と HRT との打ち合わせ会の実施・・・毎週木曜日  
各学年 HRT とトニー ALT、ジル ALT

効果的な指導方法の工夫改善について

- ・単位時間の指導の流れの明確化(ブロック化)

- ・子どもの実態に即した年間指導計画と単位時間の指導計画の作成
- ・絵カード等、学習教材の作成

ALTや地域人材等の効果的な活用について

- ・ALTとHRTで行うTTの実践
- ・ALTとの打ち合わせ会を通して行うHRTの英語研修

児童の興味・関心等学習状況の変容の把握について

- ・5・6年生の児童を中心としたアンケート調査の実施（6月、12月）
- ・全教職員を対象としたアンケート調査の実施（12月、2月）
- ・アンケート結果をもとにした、児童の変容の把握・分析

その他（中学校との連携、ICTの効果的な活用等）

- ・金山町内の小学校全教諭と中学校英語担当教諭の本校研究会への参加（6月、10月、11月、1月）
- ・国際交流姉妹都市ケチカン市からの留学生との交流会の開催（6月）

### 3 本校における取組の成果等

効果的な指導方法の工夫改善及びALTの効果的な活用について

#### （1）発達段階を考慮した年間指導計画及び単位時間の指導計画・学習教材の作成

- ・今までALTが作成・活用してきた指導計画の内容も踏まえながら、2学年をひとつのまとまりとして指導内容を見直すとともに、使用表現を繰り返し用いて活動できるようにした学年別年間指導計画を作成することができた。
- ・単元構成を月ごとのまとまりで考えながら、単元の導入では使用表現に慣れ親しませるための活動を多く位置付け、中～終末にかけては徐々にコミュニケーションを多く取れるような活動を位置付けるといった積み上げ式にしたことにより、子どもに使用表現が自然に身に付き、仲間との英語によるコミュニケーションを楽しむ姿が多く見られるようになった。
- ・歌を歌ったり体を動かしたりすることが多い低学年の活動に対し、高学年では知的好奇心を満たす活動を多くしたことによって、活動意欲が途切れることなく、興味をもって活動できるようになった。

#### 【第5・6学年の単元名・主な使用表現一覧】

学年	内容と主な使用表現
第5	「ネームカードを作ろう」 Hello. How are you? 「何時かな」 What time is it? 「ケチカンの生徒と仲良くなるう」 Do you like ~? 「友だちの好きなものは何？」 What ~ do you like? 「ハムスターはどこにいるの？」 Where is a hamster?

学 年	「買い物しよう」 How much is ~? 「クイズであそぼう」 Do you have ~? 「クリスマスカードを作ろう」 What do you want? 「バーベキューパーティーをしよう」 What vegetable do you like? 「シルエットクイズをしよう」 What are you doing? 「いろんな職業」 Who is this?
第 6 学 年	「ネームカードを作ろう」 I'm ~ years old. 「世界の時刻と時差」 What time is it in ~? 「ケチカンの生徒と仲良くなろう」 What ~ do you like? 「家族を紹介しよう」 What does he like? 「買い物しよう」 May I help you? 「薬屋さんへ行って手当てしよう」 What's the matter? 「クイズであそぼう」 What am I? 「クリスマスカードを作ろう」 May I have ~? 「レストランごっこをしよう」 May I take your order? 「ポップコーンを作ろう」 Put ~ in the frying pan. 「私の夢・ぼくの夢」 What do you want to be?

- ・子どもが活動に対する興味を失わないようにするために、活動で使用する教材について、写真やイラストを多用した絵カード等を作成・活用したことにより、英語活動に苦手意識をもつ子どもたちも、活動内容を理解して楽しく活動できるようになった。

【例：6年教材】



- ・年間指導計画に基づき、管内のどの小学校でも使用できるよう、単位時間のねらいや主な使用表現、児童の活動、HRT と ALT の役割を明示した単位時間の指導計画の作成を進めることができた。

【例：6年 単元名「ポップコーンをつくろう」の1単位時間の指導計画】

時	第28時(2月7日)		
ねらい	デモンストレーションを見てALTの指示を聞き取ったり、「Yes. Popcorn, please.」とALTにポップコーンを注文したりする活動を楽しむ。		
使用表現	Put ~ in the frying pan. Turn on(off) the gas stove. Put the pan lid on the frying pan. Shake the frying pan. corn salt butter		
	児童	HRT	ALT
あいさつ・復習	・あいさつをする。 A : Hello. How are you doing? C : I'm fine (happy, sleepy) thank you. How about you? A : I'm fine thank you. How is the weather? C : It's sunny (cloudy, rainy, windy) today.		
	・クイズタイム。 " What kind of candy do you like ? "		
活動	・デモンストレーションを見る。	・ポップコーンを作る。	・作り方の指示をする。
	A : Hi. How are you? H : I'm hungry. A : OK. Let's cook popcorn. H : Oh. Thank you. A : Will you help me? H : Yes, Sure. A : Please turn on the gas stove. (HRTは指示通り作る) A : Put butter (salt, corn) in the frying pan. A : Put the pan lid on the frying pan. A : Shake the frying pan. Turn off the gas stove.		
	・フライパンと絵カードを使って、順番に作り方の練習をする。 ・注文の仕方を練習する。 Yes. Popcorn, please. Good(Yummy, Delicious)	・練習する順番を決めるよう指示する。 ・練習の指示をする。 Let's practice.	・作り方の指示を出す。 Put ~ in the frying pan. Shake the frying pan. ・リズムにあわせて使用表現を言う。
・レストランゲームをする。	・ゲームの説明をする。	・ウエイトレス役となる。	
レストランゲーム (グループで円になる) 子どもが客となり、ひとりずつポップコーンを注文して食べる。 A : May I take your order? C : Yes, popcorn, please. (May I have popcorn?) A : How is it? C : Good(yummy).			
評価	・表現の仕方や学習の様子についての評価を聞く。 See you.	・学習の様子について評価する。 See you.	・表現の仕方について評価する。 See you.
備考	・コーン、バター、塩、フライパン、エプロン、ポップコーンの食材カード		

(2) 単位時間の指導の流れの明確化

- ・ALT任せであった英語活動の単位時間の流れを、下記のような3つのブロックに分けることで、英語が苦手な学級担任でも、T1として自信をもって英語活動の授業を進めることができるようになった。
- ・ALTとの打ち合わせでも、各指導過程での使用表現の確認、デモンストレーションの仕方、ゲーム・活動内容等の確認、準備する絵カードなどの確認が効率的に行なえるようになった。また、ALTも自分の役割をきちんと理解し、指導に関する戸惑いが少なくなった。

【基本的な単位時間の流れと役割分担】

あいさつ・復習	あいさつ・・・ALT、 内容提示・・・HRT
ゲームなどの活動	活動の進行・・・HRT デモンストレーション・・・HRT、ALT
評価	態度の評価・・・HRT、 表現の評価・・・ALT

- ・単位時間の態度目標を下記の4観点から設定し、学習内容や子どもの実態に合わせて「あいさつ・復習」の時間に HRT から提示するようにしたことにより、子どもたち自身が意識して活動に取り組めるようになった。また、他の教科での「聞き方・話し方」とも関連付けて指導したことにより、さらに意識が高まった。

【態度目標の4観点】

Listen carefully	Speak loudly	Face to Face	Let's smile
------------------	--------------	--------------	-------------

(3) TTの役割の明確化

- ・単位時間のそれぞれの指導過程において、上記のように「あいさつ：ALT」「本時の内容の提示や活動の指示：学級担任」「使用表現やゲームに関するデモンストレーション：学級担任とALTが協力」「評価：ALTが表現の仕方等についての評価、学級担任が学習の様子や態度についての評価」というように役割を明確にしたことによって、HRTがT1として授業をコントロールしながら、ALTと協力して、息の合った授業を行うことができるようになった。

【HRT・ALTの役割のとらえ】

HRTの役割	授業のコントロール、 学習者としてのモデル
ALTの役割	発音や表現のモデル、 HRTの補助

教員の指導力の向上について

(1) HRTの英語活動の授業における指導技術の向上

- ・校内研究会・研修会や先進校視察、さらにはALTとの打ち合わせ等を通して、TPRやチャンツなどの指導技術や、授業で活用できるクラスルームイングリッシュを身に付けることができた。

【HRT 6人に対するアンケート調査】... 2月実施

クラスルームイングリッシュを多く使うようになった	100 %
英語活動で使用しているクラスルームイングリッシュの数	平均 17.4 文
英語活動で使用しているクラスルームイングリッシュ(主なもの)	
Let's sing. Let's play game. Let's practice. Are you ready? Repeat after me. Make a circle. Make pairs. Once more, please. Good. Good job. Great. Smile. Go back. Speak loudly. Listen carefully. How many? Here you are. Your comment, please. That's all for today.	

児童の興味・関心等学習状況の変容について

(1) 子どもの英語活動への関心・意欲の向上

- ・6月と12月の2回、児童にアンケート調査を行った結果、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた児童が第5・6学年で8%（全校調査では6%）増加した。

【設問：英語活動は好きですか】

選択肢 \ 月	6月	→	12月
好き・どちらかといえば好き	84% (90%)		92% (96%)
嫌い・どちらかといえば嫌い	16% (10%)		8% (4%)

【対象：第5・6学年（参考：全校）】

- ・英語活動が好きではない理由を尋ねると、4つある設問のうち3つの設問で選択した児童が減少した。

【設問：英語活動が好きではない理由を教えてください】

選択肢 \ 月	6月	→	12月
いつも同じ授業だから	5人(7人)		1人(1人)
人と話すことが苦手だから	4人(6人)		1人(1人)
よく分からないから	3人(4人)		1人(2人)
おもしろくないから	0人(2人)		1人(1人)

【対象：第5・6学年27人（参考：全校73人）\*複数回答あり】

- ・上記のことから、今年度の研究の重点とした「魅力ある活動の設定」や、研究主題にある「積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度」に関する項目での減少が大きいため、今年度の取組の成果が表れてきていると考えられる。